

地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	矢吹町 (07466)
地域名 (地域内農業集落名)	西三神地区 (須乗本田、須乗新田、西原)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	81.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	76.2 ha
② 田の面積	73.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	8.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地域に若い担い手が見当たらない。耕作者の高齢化が進み、担い手がいなくなる可能性がある。
農業用設備や農機具、資材の価格が高騰しており、特に中小規模の農家にとって経済的負担が増大している。また、老朽化した設備の更新が進まない状況にある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域農業の持続可能性を高めるため、担い手の育成と農地の集積・効率化を図る。
地域全体での協力体制を強化し、地域農業の将来に向けた具体的な目標と計画を策定する必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針				
農地が分散し、効率的な耕作が難しい状況である。 高齢化や担い手不足により耕作放棄地が増加しており、農地の維持が困難となっている。				
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標				
現状の集積率	78	%	将来の目標とする集積率	78 %

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

規模縮小、リタイアで耕作不能となる農地については、引き受け意向のある担い手への集積を図り、現状維持を希望する担い手については継続して作付を行う。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

規模縮小、リタイアで耕作不能となる農地について、農地所有者の意向を確認した上で、現在集積している担い手への集積を検討していく。

(2)農地中間管理機構の活用方法

地域の実情を踏まえ必要に応じ、農地中間管理機構の活用を検討していく。

(3)基盤整備事業への取組

一部実施済みであるが、必要に応じて検討していく。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

新規就農希望者や新規参入者の希望があった際、受け入れを図る。
地域内で法人設立希望があった場合、検討する。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農作業の効率化、遊休農地の発生防止を図るため、関係機関と連携し、農作業委託の活用について検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携	☐	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

⑦保全・管理等

- ・地域で水路の維持管理や、ほ場や農道の草刈りなどを継続していく
- ・須乗本田地域資源保全会、新田地区保全会における地域資源の適切な保安全管理に向けた計画は別紙のとおり

⑧農業用施設

- ・農地を支える水路やポンプ等の基幹施設設備の適切な機能保全を図る
- ・国県の補助を活用しながら、改良、点検・整備の充実及び適正化を図る

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和11年度)					備考
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示		
1	認農	A	水稲	0.22 ha	ha	水稲	0.22 ha	ha	A		
2	利用者	B	水稲	1.05 ha	ha	水稲	1.05 ha	ha	B		
3	利用者	C	複合経営	0.69 ha	ha	複合経営	0.69 ha	ha	C		
4	利用者	D	水稲	0.32 ha	ha	水稲	0.32 ha	ha	D		
5	認農	E	水稲	1.55 ha	ha	水稲	1.55 ha	ha	E		
6	利用者	F	複合経営	0.42 ha	ha	複合経営	0.42 ha	ha	F		
7	認農	G	複合経営	2.45 ha	ha	複合経営	2.45 ha	ha	G		
8	利用者	H	水稲	0.33 ha	ha	水稲	0.33 ha	ha	H		
9	利用者	I	水稲	0.83 ha	ha	水稲	0.83 ha	ha	I		
10	利用者	J	水稲	0.98 ha	ha	水稲	0.98 ha	ha	J		
11	利用者	K	水稲	0.22 ha	ha	水稲	0.22 ha	ha	K		
12	利用者	L	水稲	0.95 ha	ha	水稲	0.95 ha	ha	L		
13	利用者	M	複合経営	0.4 ha	ha	複合経営	0.4 ha	ha	M		
14	利用者	N	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	N		
15	利用者	O	水稲	0.93 ha	ha	水稲	0.93 ha	ha	O		
16	利用者	P	複合経営	0.06 ha	ha	複合経営	0.06 ha	ha	P		
17	利用者	Q	水稲	0.49 ha	ha	水稲	0.49 ha	ha	Q		
18	利用者	R	水稲	1.03 ha	ha	水稲	1.03 ha	ha	R		
19	利用者	S	水稲	0.78 ha	ha	水稲	0.78 ha	ha	S		
20	利用者	T	水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.1 ha	ha	T		
21	認農	U	複合経営	0.8 ha	ha	複合経営	0.8 ha	ha	U		
22	利用者	V	水稲	0.85 ha	ha	水稲	0.85 ha	ha	V		
23	認農	W	水稲	2.47 ha	ha	水稲	2.47 ha	ha	W		
24	利用者	X	水稲	0.06 ha	ha	水稲	0.06 ha	ha	X		
25	利用者	Y	複合経営	0.12 ha	ha	複合経営	0.12 ha	ha	Y		
26	認農	Z	水稲	0.07 ha	ha	水稲	0.07 ha	ha	Z		
27	利用者	AA	水稲	1.27 ha	ha	水稲	1.27 ha	ha	AA		
28	認農	AB	複合経営	0.25 ha	ha	複合経営	0.25 ha	ha	AB		
29	認農	AC	複合経営	0.01 ha	ha	複合経営	0.01 ha	ha	AC		
30	利用者	AD	水稲	0.73 ha	ha	水稲	0.73 ha	ha	AD		
31	利用者	AE	複合経営	0.84 ha	ha	複合経営	0.84 ha	ha	AE		
32	認農	AF	複合経営	4.3 ha	ha	複合経営	4.3 ha	ha	AF		
33	利用者	AG	水稲	0.39 ha	ha	水稲	0.39 ha	ha	AG		
34	利用者	AH	水稲	0.56 ha	ha	水稲	0.56 ha	ha	AH		
35	利用者	AI	水稲	0.39 ha	ha	水稲	0.39 ha	ha	AI		
36	利用者	AJ	複合経営	1.71 ha	ha	複合経営	1.71 ha	ha	AJ		
37	認農	AK	水稲	1.47 ha	ha	水稲	1.47 ha	ha	AK		
38	利用者	AL	水稲	0.18 ha	ha	水稲	0.18 ha	ha	AL		
39	利用者	AM	複合経営	1.16 ha	ha	複合経営	1.16 ha	ha	AM		
40	利用者	AN	水稲	0.77 ha	ha	水稲	0.77 ha	ha	AN		
41	認農	AO	複合経営	2.36 ha	ha	複合経営	2.36 ha	ha	AO		
42	利用者	AP	複合経営	3.13 ha	ha	複合経営	3.13 ha	ha	AP		
43	利用者	AQ	水稲	1.71 ha	ha	水稲	1.71 ha	ha	AQ		
44	利用者	AR	水稲	0.61 ha	ha	水稲	0.61 ha	ha	AR		
45	利用者	AS	水稲	0.45 ha	ha	水稲	0.45 ha	ha	AS		
46	利用者	AT	水稲	0.17 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	AT		
47	利用者	AU	水稲	0.19 ha	ha	水稲	0.19 ha	ha	AU		
48	利用者	AV	複合経営	0.03 ha	ha	複合経営	0.03 ha	ha	AV		
49	利用者	AW	水稲	1.9 ha	ha	水稲	1.9 ha	ha	AW		
50	利用者	AX	複合経営	1.12 ha	ha	複合経営	1.12 ha	ha	AX		
51	利用者	AY	水稲	0.55 ha	ha	水稲	0.55 ha	ha	AY		
52	認農	AZ	水稲	0.33 ha	ha	水稲	0.33 ha	ha	AZ		
53	利用者	BA	水稲	0.39 ha	ha	水稲	0.39 ha	ha	BA		
54	認農	BB	複合経営	0.37 ha	ha	複合経営	0.37 ha	ha	BB		
55	認農	BC	水稲	0.09 ha	ha	水稲	0.09 ha	ha	BC		
56	認農	BD	水稲	1.02 ha	ha	水稲	1.02 ha	ha	BD		
57	利用者	BE	水稲	1.11 ha	ha	水稲	1.11 ha	ha	BE		
58	利用者	BF	水稲	0.08 ha	ha	水稲	0.08 ha	ha	BF		
59	認農	BG	水稲	1.72 ha	ha	水稲	1.72 ha	ha	BG		
60	利用者	BH	水稲	0.18 ha	ha	水稲	0.18 ha	ha	BH		
61	利用者	BI	水稲	0.21 ha	ha	水稲	0.21 ha	ha	BI		
62	利用者	BJ	水稲	0.24 ha	ha	水稲	0.24 ha	ha	BJ		
63	利用者	BK	水稲	1.08 ha	ha	水稲	1.08 ha	ha	BK		
64	利用者	BL	複合経営	0.53 ha	ha	複合経営	0.53 ha	ha	BL		
65	利用者	BM	複合経営	0.03 ha	ha	複合経営	0.03 ha	ha	BM		

66	利用者	BN	複合経営	1.43	ha	ha	複合経営	1.43	ha	ha	BN	
67	利用者	BO	水稻	1.26	ha	ha	水稻	1.26	ha	ha	BO	
68	利用者	BP	複合経営	2.13	ha	ha	複合経営	2.13	ha	ha	BP	
69	認農	BQ	複合経営	3.74	ha	ha	複合経営	3.74	ha	ha	BQ	
70	利用者	BR	水稻	0.65	ha	ha	水稻	0.65	ha	ha	BR	
71	利用者	BS	水稻	0.2	ha	ha	水稻	0.2	ha	ha	BS	
72	認農	BT	水稻	1.13	ha	ha	水稻	1.13	ha	ha	BT	
73	利用者	BU	水稻	0.32	ha	ha	水稻	0.32	ha	ha	BU	
			合計	64.16	ha	ha	合計	64.16	ha	ha		

(別記 1 - 4 様式)

新田地区保全会 地域資源保全管理構想
(平成 31 年 3 月作成)

組織名称：新田地区保全会

代表者氏名：塩澤幸作 印

1. 地域で保全管理していく農用地及び施設

(1) 農用地

別添 「追加活動申請書」および
「様式 1-3 号 I の 2 の農用地面積および添付図面」のとおり

(2) 用排水路、農道、ため池

別添 「様式 1-3 号 I の 2 の農業用施設および添付図面」のとおり

(3) その他施設

なし

2. 地域の共同活動で行う保全管理活動

(1) 農用地

別添 様式 1-3 号 III の 1 の①および 2 の (1) の①のとおり

(2) 用排水路、農道、ため池

上記 (1) と同様

(3) その他施設

なし

3. 地域の共同活動の実施体制

(1) 組織の構成員、意思決定方法

①組織の構成員

別添 「規約 参加同意書 (構成員一覧表)」のとおり

②意思決定方法

毎年、2 月に役員会と子ども会育成会、老人クラブとで活動案を作成し
意見をまとめたうえで、総会に諮り翌年度の活動内容を決定する。

(2) 構成員の役割分担 (該当するところにレ印を入れてください。複数のレ印も可です。)

① 農用地

☐ 集落営農組織

☐ 担い手農家

☒ 土地持ち非農家

☒ 自作小規模農家

☐ 非農家

☐ その他 ()

② 用排水路、農道、ため池

☒ 集落営農組織

☐ 担い手農家

☐ 土地持ち非農家

- ☐ 自作小規模農家
☐ 非農家
☐ その他（ ）

4. 地域農業の担い手の育成・確保

(1) 担い手農家の育成・確保（該当するところにレ印を入れてください。）

☐ 人・農地プランは作成済みである

☒ 人・農地プランは未作成である

現在のところ中心となる担い手が不在で自作小規模農家が多数を占めている。
今後もこの状態を継続させていくことは困難であることは認識しており、地
域農業のあり方を集落内で話し合っていきたい。

(2) 農地の利用集積（該当するところにレ印を入れてください。）

①現状

☐ 担い手に集積ができている。

☐ 担い手に概ね〇〇%（具体的な数値を入れてください）ほど集積しており、今後
も集積率が向上するよう話し合いを進める。

☐ 担い手に集積するために具体的な話し合いを進めているところである。

☒ 集積は全く進んでいない。

☐ その他（ ）

②目標

☐ 担い手に集積ができているおり、今後も持続できるよう努めていく。

☐ 担い手に概ねの集積を目標に話し合
を進める。

☒ 今後、具体的な話し合いの場を1年以内に設けることができるよう努力していく。

☐ その他（ ）

5. 適切な施設（用排水路、農道、ため池等）の保全管理に向けて取り組む活動・方策

・ 今後5年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組むべき活動・方策
について下記を参考に記載してください。（複数の記載も可です。）

（取り組むべき活動・方策の例）

- (1) 組織体制の強化や活動の拡大を図るための広域組織化やNPO法人化
- (2) 農地や施設、地域環境を保全するための農地周辺部の活動拡大や遊休農地の有効利用
- (3) 地域を守る取組の魅力を情報発信する活動、活動への新たな参画者を募る活動
- (4) 地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動
- (5) 保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設整備

(1) 地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動

地域の景観・環境を維持することで、若い世代や将来を担う子供たちへ、地域の
魅力や活動内容の情報を発信し、保全管理活動の継続や強化を図る。

(2) 保全管理の省力化のための用水路等保全管理に必要な施設の整備

製品の入っていない農業用水路管理の省力化と通水機能の向上を図るため、二
次製品による水路への改修を進め、保全管理の省力化と用水機能の向上を図る。